

(別記様式2)

公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	伊香保森林公園		
所在地	渋川市伊香保町		
所管部局・課	環境森林部森林保全課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	県営林係	内線	3273

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

群馬県立森林公園の設置及び管理に関する条例

2 施設の役割

(1) 設置目的

森林が持つ優れた自然環境を保全するとともに、県民の保健休養及び森林学習の場として広く利用に供する

(2) 設置当初の状況

県内初の森林公園として開園。ニッ岳(雄岳・雌岳)を中心とした県有林の一部で史跡と景勝に富み自然植生に恵まれた環境を生かした最小限の施設を整備し、榛名山の自然そのものに親しむことができた。もみじの広場には天皇后両陛下の行幸啓(昭和56年)を記念した御製碑が設置されている。

(3) 施設を取り巻く現状

豊かな自然植生や景勝に富んだ、伊香保温泉や榛名山に隣接する観光立地にあることから、日帰り散策を楽しむ公園として定着している。また、野鳥観察のメッカとして年間を通じて愛好家が訪れ、林間学校や遠足などの定番コースとして利用されることが多い。開園から40年近くを経て、園内の環境整備の必要性が高まっている。

3 施設の概要

設置年月日	昭和54年5月18日
敷地面積(所有者)	224ha 群馬県
主な施設(床面積、階数等)	管理棟(74㎡木造平屋)、四阿、トイレ、遊歩道
建設費	268,741 千円
備考	管理棟修繕(H19)、園内木製歩道改修(H27~29)

※1 施設数の区分が多い場合は、別紙も可

※2 備考欄には、過去の大規模改修等の状況を記入

◇入園料・利用料等 (円)

◇利用時間(休館日)

区分	金額	●開園日: 年中無休(12月28日~1月4日を除く) ●管理棟開館時間: 午前9時から午後5時
一般	無料	
大学生・高校生	無料	

※ 入園料・利用料等の区分が多い場合は、別紙も可

4 施設における実施事業

ハイキング情報や主な植物の見頃を紹介

※ 指定管理者が自主事業を行っている場合は、区分して記入

5 管理運営コストの状況

区 分	令和4年度(当初予算額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
歳 入(①)	61	61	61	68	67
使用料(土地使用料)	61	61	61	68	67
歳 出(②)	11,557	11,457	14,235	7,751	7,178
指定管理料	5,850	5,850	5,850	5,850	5,044
修繕費	4,200	2,384	5,327		265
工事費(園内整備)	1,507	3,223	3,058	1,901	1,869
歳入・歳出の差額(①-②)	-11,496	-11,396	-14,174	-7,683	-7,111
歳入・歳出の主な増減理由					

※1 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記入(総務調整費等からの支出も含める。指定管理者の収支ではない。)

※2 人件費は、常勤職員と非常勤職員を区分して記入

※3 歳入・歳出科目は適宜加除修正すること

※指定管理制度導入施設は、次の項目を追加して記入

◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和4年度(当初計画額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
収 入(①)	5,850	5,850	5,850	5,850	5,044
指定管理費	5,850	5,850	5,850	5,850	5,044
支 出(②)	5,850	7,948	7,714	8,621	4,991
人件費	3,400	4,450	4,489	5,780	3,325
光熱水費	250	311	349	350	355
租税公課費	200	186	220	441	7
修繕費	0	121	0	5	131
維持管理費	2,000	2,880	2,656	2,045	1,173
収支(①-②)	0	-2,098	-1,864	-2,771	53
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由					

※1 指定管理者の指定管理業務に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

※2 収入・支出科目は適宜加除修正すること

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
常勤職員	0	1	1	1	1
非常勤職員	2	1	1	1	1
合計	2	2	2	2	2

※ 指定管理者導入施設については、主に指定管理業務に従事する職員数を記入(主に自主事業業務に従事している職員、一部指定管理業務に従事しているが大部分を他の会社(団体)業務等に従事している場合は記入しない。)

7 施設利用の状況

区分	令和4年度※1	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間利用者総数(人)	45,668	106,012	66,644	73,024	79,925
有料利用者数(人)	0	0	0	0	0
無料利用者数(人)	45,668	106,012	66,644	73,024	79,925
目標利用者数(人)※2	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000
施設稼働率(%)※3					
稼働率対象施設(設備)					
利用者の主な増減理由	つつじの名所として有名であるが、開花状況によって来園者数が左右される。定期的に利用する学校や保育園等に加え、リピーターが多い。				

※1 見込数又は途中実績を記入

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区分	内容
施設の必要性	<p>伊香保森林公園は伊香保温泉と榛名湖の中間に位置し、関越道からのアクセスもよい恵まれた立地条件にある。榛名山の東に位置するニッ岳(雄岳、雌岳)を中心とした史跡と景勝に富んでいること、四季を通じて豊かな自然植生に恵まれていることから、県内外からの学校や団体の利用が多く、また中高年を中心に気軽に楽しめる日帰り散策の目的地として親しまれている。</p> <p>県内を見渡せる眺望に優れたニッ岳山頂への遊歩道や風穴、野鳥観察を目当てとするリピーターが多く、また、伊香保温泉を訪れる観光客の立ち寄り場所として、地域を代表する観光拠点となっていることから存続が必要である。</p>
指定管理者制度	<p>引き続き指定管理者制度による管理運営を続けていくが、隣接する憩の森との一体的に管理することにより管理運営の効率化を図りたい。</p>

業務等の見直し

伊香保森林公園は224^{ヘクタール}の広大な面積を誇り、年間10万人以上の利用がある主要な森林公園である。魅力である自然林や景勝を活かすため、遊歩道等の整備を引き続きおこなっていくとともに、トイレを現在のニーズに適したものに改修する必要がある。